

あなたと育てたい、緑があります。



山から街まで緑豊かな愛知を目指して。 「あいち森と緑づくり税」 平成21年4月スタート

ご存知ですか？愛知の森や緑は今、荒廃・減少の危機にあることを。
愛知県では、こうした森や緑を健全な状態で将来に引き継いでいこうと、平成21年度より「あいち森と緑づくり税」を導入いたします。
県民の皆さまの支えを活かして、整備・保全など様々な取り組みを進めてまいります。

**山から街まで
緑豊かな愛知の実現を目指して**

近年、環境問題への関心の高まりを背景として、地球温暖化防止や水源のかん養など、森や緑が有する多様な公益的機能に対する県民の皆さまの期待が高まっています。

愛知県には、三河山間部の森林、名古屋圏を中心とする都市の緑、その中間に位置する里山林と、守るべき森と緑が多く存在していますが、近年、手入れ不足の森林の増加や、都市の緑の減少に伴う公益的機能の低下が危惧されています。こうした状況の改善のためには、森や緑を「県民共有の財産」として明確に位置づけ、県民、NPO、行政などが協働、連携して森や緑の整備、保全に取り組み、次世代に引き継いでいく必要があります。

このため、愛知県では平成21年4月から県民の皆さまや企業の方々にご負担をいただく「あいち森と緑づくり税」を導入し、この税を活用して、森林、里山林、都市の緑をバランスよく整備、保全するための様々な取り組みを進めてまいります。

県民の皆さまの安心、安全な生活のために、山から街まで緑豊かな愛知を実現するよう力を尽くしてまいりますので、ご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



愛知県知事
神田 直秋

ストップ・ザ 交通事故 ～年末の交通安全県民運動実施中～

一瞬にして尊い命を奪う交通事故をなくすことは、私たちの願いです。しかし、悲惨な交通事故は後を絶たず、今年もこれまでに多くの方の尊い命が奪われています。慌ただしい年末は、交通死亡事故が多発する時期になります。また、1年で日没時刻が最も早く、夕暮れ時から夜間にかけて、高齢者の歩行中や自転車乗用中の交通事故が多発しています。

一方、この時期は、忘年会などでお酒を飲む機会が増えることから、重大事故につながる飲酒運転も心配されます。現在、年末の交通安全県民運動を今月10日まで実施しています。悲惨な交通事故を1件でも減らすため、1人ひとりがルールを守り、思いやりにあふれた行動に努めましょう。

▶問合せ＝地域安全課 ☎052(954)6177

期間：12月1日(月)から10日(水)までの10日間

- ◆運動の重点
- ・飲酒運転を根絶しよう
 - ・高齢者を交通事故から守ろう
 - ・夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故をなくそう
 - ・後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう

お知らせ

あいち県民債を発行します

▼募集期間 12月10日(金)～19日(金) 売切次第終了

▼目的 社会資本整備事業期間 5年満期

▼購入対象者 県内に在住・在勤者、県内に営業拠点等のある法人、団体など

▼利率 県ホームページ発表12月9日(水)15時、店頭発表12月9日(水)16時、購入限度額 3千万円

▼申込み 三菱東京UFJ銀行、信用金庫(あいち)銀行、知多・中目・豊田・豊橋・西尾・碧海・蒲郡・豊川、証券会社(大和・日興・野村・新光・みずほ・インベスターズ・東海東京・三菱UFJ・三井住友・Cフレンド・岡三・丸三)

▼問合せ 財政課 ☎052(954)6045

Aichi Hot Mail

愛知県からのお知らせ

このコーナーに掲載している行催事・募集については、県のホームページの「暮らし」募集」または「観光レジャーイベント情報」で詳しい内容をご覧いただけます。また、お近くの県民生活プラザで、案内チラシをお配りしています。

行催事・募集

「ひきこもりを考えるセミナー」を開催します

ひきこもりへの理解を深め、支援のあり方を考えるため、ノンフィクション作家久田恵さんの基調講演と専門家、ひきこもり経験者をお招きしてのトークセッションを行います。

▼日時 12月13日(土)13時30分～15時30分

▼会場 ウィルあいち(名古屋市中区) 対象 県民、ひきこもりに関心のある方

▶参加費 無料(申込不要) 定員 100名

▶申込先着順

▶参加費 無料(申込不要)

▶問合せ 人権同和対策室 ☎052(954)6167

「人権ハートフルフェスティバル」を開催します

県民の方々に気軽に参加していただきながら、人権の大切さに気づき、考える機会としてフェスティバルを開催します。

▼内容 ①映画「典子は、今」(日本語字幕、シン・ボイスガイド付き)の上映

②映画「典子は、今」で主演をされた白井のり子氏による人権トークショー

③「典子は、今」あれから27年、今を生きている」手話、要約筆記、託児(要予約)付き

▼日時 12月18日(土)12時30分～15時30分

▼会場 中京大学文化市民会館(名古屋市中区) 定員 100名

▶参加費 無料(申込不要)

▶申込先着順

▶参加費 無料(申込不要)

▶問合せ 人権同和対策室 ☎052(954)6167

「子どもと大人のモラルを語る」との参加者募集

加藤晴彦さんも出演!

学校における実践事例の発表や俳優の加藤晴彦さんをお招きして、中学生・高校生と大人によるパネルディスカッションなど、モラルについて語るついでを開催します。

▼日時 12月4日(日)13時

▼会場 ウィルあいち(名古屋市中区)

▶参加費 無料

▶申込先着順

▶問合せ 11月9日(金)まで(先着順)に、郵便番号、住所氏名、電話番号、参加希望人数(4名まで)を記入の上、FAX又はEメールで教育委員会総務課教育企画室(〒460-8501、FAX 052(954)6822、Eメール kyoiku-somu@pref.aichi.jp)へ

「親子の絆 フォーラム」参加者募集

親子の絆について、マンモス復活プロジェクトの後藤和文氏とシンガーソングライター・カウセラの南修治氏をお招きしてフォーラムを開催します。

▼日時 12月25日(土)13時30分

▼会場 ウィルあいち(名古屋市中区)

▼対象 小学4～6年の児童と保護者等

▶参加費 無料(定員 500名)

▶申込み・問合せ 12月25日(土)まで(必着。多数の場合は先着順)に①人数(4名まで可)②児童氏名(小・中学校名)③保護者氏名(住所、電話番号)を記入の上、FAX又はEメールで、学事振興課(〒460-8501、住所 6174、FAX 052(954)9714)へ

「生物多様性キャラバンセミナー」を開催します

2010年に愛知・名古屋で開催される「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」に向けて、生物多様性について県民の皆様に広く知っていただくため、県内各地でセミナーを参加無料で開催します。

▼日時 会場 来年度3月までの間に県内20か所で開催予定です。詳細については、国際会議準備室までお問い合わせください。なお、左記ホームページにも随時情報を掲載していきます。

▼問合せ 国際会議準備室 ☎052(954)6246

▶ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/00001768/6ahmi>

県民生活 コーナー

日本では、B型・C型肝炎ウイルスの持続感染などで多くの方が肝炎に悩んでいると聞きました。県内で肝炎に悩んでいる方、ご相談を専門に行っているところがありますか?

県では委託事業として、名古屋市中立大学病院に専門の相談員が電話や面談によってお答えする「肝炎患相談室」を開設しています。肝炎などで悩みのある方は、ご相談ください。

相談受付は、月曜日から金曜日まで(祝日、年末年始を除く)9時から16時まで(正午から13時までを除く)です。

▶相談窓口 名古屋市中立大学病院病棟(中央診療棟1階)(名古屋市中瑞穂区瑞穂町字川澄)

☎052(858)7138

「県政お届け講座」をご利用ください

県民の皆さまが県政で知りたいことを職員がお伺いして説明します。「子育て・教育・学習」「福祉・人権・男女共同参画」「文化・生活・交流」「まちづくり」「健康・医療」「安全情報」「農林・畜産」「環境」「産業・雇用」「その他」と、身近な内容から県が重点的に取り組んでいる施策まで、10分野132のテーマからお選びいただけます。なお、職員の出発費用は無料ですが、会場は申込者の準備となります。詳細はホームページをご覧ください。

▶ホームページ <http://www.merumaga.pref.aichi.jp/kouza/index.html>

▶問合せ 広報広聴課 ☎052(954)6170

メールマガジン「Ai県マガジン」の読者募集中

総合版(毎月第2金曜日発行) 県民から公募したレポーターが、四季折々の愛知の見所をわかりやすく紹介します。観光や最新映画なども紹介。

子育て支援版(毎月第3金曜日発行) 子育て家庭を応援する取り組みやイベント・施設情報をお届けします。

安心・安全情報版(毎月第4金曜日発行) 防災、防犯、健康、消費生活など、安心・安全な暮らしに必要な情報をお届けします。

▶登録無料です。今すぐアクセス <http://www.merumaga.pref.aichi.jp/>

▶問合せ 広報広聴課 ☎052(954)6170